



# 園だより 4月号

新宿区立西戸山幼稚園 令和6年4月8日発行



## ならんだ ならんだ

園長 佐藤淳穂

ご入園、ご進級、おめでとうございます。

園庭の池でオタマジャクシが泳ぎ始めました。5ミリほどの小さくて黒いものが底でゆらゆらと動いています。元気のいい金魚たちがねらってやしないか、職員が心配そうに池を覗いています。新しく始まる園生活の中で、このオタマジャクシに出会う子どもたちがどのように心動かされるかと楽しみです。

花壇ではピンク色のサクラソウが風に揺れ、チューリップがつぼみを膨らませています。公益社団法人弘済会の助成を受け、今年は500球以上の球根を植えました。在園児親子と一緒に植えた「親子のプランター」やつどいのへやに遊びに来てくれた親子が植えた「どんぐりのプランター」もあります。まもなく「ならんだ ならんだ あか しろ きいろ」と保育室からかわいい歌声が聞こえてくることでしょう。

昨年5月の広島サミットの際には、世界中の教育に関する専門家の集結した「G7教育大臣会合」が開催されました。協議のトピックは「AI時代には教育の見直しが必要」「今、希望している職業は自動化される」「人間に必要な力は創造する力、挑戦する力、思考力、成長を志向する力」などで、アンドレアス・シュライヒャー（OECD教育・スキル局長）は会見の中で「成長を後押しするのは主体的な学び」「若者はタブレットで情報検索し回答を求めるが、何が真実か偽りかを見極める力、正しく質問する力が重要」「幼児期にはクリエイティブの源泉がある」「Well-beingの要素は楽観的・ストレスに強い・エネルギーに満ちている」などと語ったそうです。

「遊び」はまさに主体的な活動です。触ってみたい、やってみたいと心を動かして遊ぶ幼稚園での毎日は、AIの時代に必要な学びが詰まっています。実際に見たり、聴いたり、つくったりする直接体験は、真実を見極める力の源となるでしょう。遊びの中での友達との関わり合いでは、思う通りにはいかない経験や相手を尊重する大切さを知り、Well-beingを導く基礎となるでしょう。

園では、3歳だからこそ、4歳だからこそ、5歳だからこそその世界を楽しめる遊びを、じっくりと、そしてたっぷりとできるよう環境を用意し、工夫していきます。今年度も、子どもたちがかけがえのない経験を重ねることが出来ますよう、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。